

令和3年第1回臨時会

(令和3年7月13日)

上川北部消防事務組合議会会議録

令和3年第1回上川北部消防事務組合議会臨時会

開会 令和3年7月13日(火曜日) 午後2時00分

1. 議事日程

日程第1	議席の指定について
日程第2	議会運営委員会委員の選任について
日程第3	会議録署名議員の指名
日程第4	会期の決定
日程第5	議案第1号 令和3年度上川北部 消防事務組合一般会計補正予算 (第1号) について

1. 出席議員(11名)

議長	11番	東 千春 君
副議長	10番	岩崎 泰好 君
議員	1番	塩田 昌彦 君
議員	2番	大西 功 君
議員	3番	和田 健 君
議員	4番	平木 総司 君
議員	5番	玉田 健 君
議員	6番	倉澤 宏 君
議員	7番	小池 豊 君
議員	8番	小西 邦広 君
議員	9番	近藤 八郎 君

1. 欠席議員(0名)

1. 事務局職員

事務局 長	伊藤 慈生
書 記	森 雄馬
書 記	町 英紀
書 記	田嶋 大助
書 記	高嶋 元治

1. 説明員

管 理 者	加藤 剛士 君
副 管 理 者	山口 信夫 君
副 管 理 者	谷 一之 君
副 管 理 者	石垣 寿聰 君
副 管 理 者	佐近 勝 君
消防参事(名寄市副市長)	橋本 正道 君
会 計 管 理 者	鈴木 康寛 君
監 査 委 員	鹿野 裕二 君
監査委員事務局長	紀國谷 康子 君
消 防 長	佐々木 幸雄 君
総 務 課 長	渡辺 敏史 君
消 防 企 画 課 長	谷口 直寿 君
名寄消防署長	遠藤 豊明 君
下川消防署長	土本 繁美 君
美深消防署長	吉田 直茂 君
中川消防支署長	金住 隆 君
音威子府消防支署長	上野 孝広 君

◎開会の宣告

○議長（東千春議員） ただいまより、令和3年第1回上川北部消防事務組合議会臨時会を開会いたします。

（午後2時00分）

◎会議の宣告

○議長（東千春議員） 直ちに本日の会議を開きます。

◎議席の指定について

○議長（東千春議員） 日程第1 議席の指定を行います。美深町議会選出の五十嵐庄作 議員は、令和3年6月18日をもって美深町議会議員を辞職されたことから、本組合同規約第6条第2項の規定により本組合議員を失職し、後任として和田健 議員が本組合議員として選出されました。

会議規則第3条第3項の規定により和田健 議員の議席を3番に指定いたします。

◎議会運営委員会委員の選任について

○議長（東千春議員） 日程第2 議会運営委員会の委員の選任についてお諮りいたします。五十嵐庄作 議員の辞職により議会運営委員会の委員に欠員が生じておりますので、和田健 議員を後任の委員として選任したいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶものあり）

○議長（東千春議員） 異議なしと認めます。よって、和田健 議員は、議会運営委員会の委員に選任されました。

◎会議録署名議員の指名

○議長（東千春議員） 日程第3 会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員には会議規則第87条の規定により、8番 小西邦広 議員 9番 近藤八郎 議員 を指名いたします。

◎会期の決定

○議長（東千春議員） 日程第4 会期の決定について、お諮りいたします。

今期 臨時会の会期は、本日1日としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶものあり）

○議長（東千春議員） 異議なしと認めます。よって、今期臨時会の会期は、本日1日と決定いたしました。

◎議案第1号

○議長（東千春議員） 日程第5 議案第1号 令和3年度上川北部消防事務組合一般会計補正予算（第1号）を議題といたします。

提出者の説明を求めます。

加藤管理者

○管理者（加藤剛士君） 議案第1号 令和3年度上川北部消防事務組合一般会計補正予算について、提案の理由を申し上げます。

今回の補正につきましては、歳入歳出それぞれ918万5,000円を増額し、予算総額を12億6,116万2,000円とするものであります。

補正の内容につきまして、歳出から申し上げます。2款総務費、1項総務管理費で50万円、3款消防費、1項名寄消防費で386万2,000円、3項美深消防費で482万3,000円を増額しようとするものであります。

主な内訳としましては、総務管理費の一般管理費で、コミュニティ助成事業、いわゆる宝く

じ助成金が採択されたことに伴う、関係団体への補助金として 50 万円を増額するものであります。

名寄消防費の常備消防費では、救急出動時における新型コロナウイルス感染症等の感染防止を徹底するため、救急隊員感染防止衣の購入により、需用費を 286 万 2,000 円増額するとともに、消防施設費では、庁舎サイレン塔の補修を行うため需用費を 50 万円増額するなど、所要の増額をしようとするものであります。

美深消防費の常備消防費では、119 番通報受信時に位置情報を取得するための、専用デジタル通信機器の更新整備を図ることにより、委託料を 91 万 3,000 円増額するとともに、救急出動時における新型コロナウイルス感染症の感染リスク低減を目的とした、心臓マッサージシステムの導入、並びに、庁舎内における新型コロナウイルス感染症の感染リスク低減を図るための次亜塩素酸空間除菌脱臭機の購入により、備品購入費を 389 万 2,000 円増額しようとするものであります。

次に歳入につきましては、1 款分担金及び負担金で構成市町村分担金として名寄消防に要する経費 386 万 2,000 円、美深消防に要する経費 482 万 3,000 円を増額するとともに、5 款諸収入でコミュニティ助成事業助成金 50 万円を増額し収支の均衡を図るよう計上したものであります。

以上補正予算の概要を申し上げます。

よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

○議長（東千春議員） これより、質疑に入ります。ご発言ございませんか。

岩崎泰好議員

○10番（岩崎泰好議員） 予算総務費の一般管理費の関係で、コミュニティ助成事業補助金ということで、今回 50 万、受け取ってますが、

説明資料によりますと、「ケスヨ」の購入に充てるといことで、外郭団体である上川北部幼少年女性防火委員会に補助を出すという中身だというふうに理解しているところですが、私も勉強不足で申し訳ございませんが、この外郭団体である上川北部幼少年女性防火委員会というのが、どんな団体でどうゆう活動をしているのかさっぱりわからなかったのが実情でございます。現状、コロナの影響もございしますが、通常どのような活動を今日まで進めてきてですね、今後どのような活動を推進しようとしているのか。あるいは、今回 50 万ということで補助を出していますが、この団体の予算規模といいますか、どの程度の予算で活動を推進しているのか。更には構成員たるもの、どのようなかたちの少女少女、あるいは女性の方々がそこに加入をされてですね、防火や消火の啓発活動の推進をしているのか、その実情についてお聞きしたいと思います。

○議長（東千春議員） 谷口消防企画課長

○消防企画課長（谷口直寿君） 今回「ケスヨ」の導入についてという事で、女性防火クラブの育成強化ということで揃えていくわけでございますけれども、この女性クラブというのは、もとは上川北部幼少年女性防火委員会といたしまして、幼年、未就学の方、あと少年で小学、あと家庭を守られるような女性の方々、そういった方を対象に防火に対する意識を高揚させる意味合いで立ち上げている団体でございます。

今回「ケスヨ」の部分で活用させていただくところなんですけども、その中の女性防火クラブというのは、中川に 1 団体、名寄に 2 団体ありまして、人数でいきますと 3 団体で 100 名を超える人数で組織されているところです。これらについても私どもの訓練の内容であるとか、そういった中身に対してですね、あと火災予防運動とか、そういった時に、女性防火クラブ員

の方のご協力を得ながらですね、市民に対して、防火に対する意識の高揚を進める部分でご協力をいただいているところがございます。

そういった中で、訓練等々を行う部分で、この「ケスヨ」を導入させていただいて、資料のとおり、消火の体験装置でございます。そういったものを女性防火クラブの中でやっていただくようなかたちで進めていければと考えております。

また、予算の状況なんですけども、申し訳ありませんが手元に資料がありませんが、助成金を20万前後いただいでですね、幼少年女性防火クラブ全体の金額として対応しているところでございます。

○議長（東千春議員） 岩崎泰好議員

○10番（岩崎泰好議員） 今、外郭団体という位置づけになっておりますけども、今の説明ではかつては各消防署にあった組織だと解釈をしたんですが、現状では上川北部消防事務組合の中では中川と名寄の3団体のみということで、こういう啓発活動は非常に大事なところなんですけども、かつてはあった各消防、とりわけ美深ですとか、あるいは下川ですとか、音威子府も含めてですね、そこら辺のところには、こういう機器の使用とかそういうかたちで、どういうかたちで進んでいくのか。全体のかたちで助成しているものですから、だから、そういうところの活動もこれからはやっぱり期待しなきゃいけないというふうに思うところなんですけども、そのへんの考え方だけお聞きしたいと思います。

○議長（東千春議員） 谷口消防企画課長

○消防企画課長（谷口直寿君） 導入は、女性防火委員会で進めていくわけなんですけども、こればかりは毎回毎回、女性防火委員会が活動しているわけではございませんので、上川北部消防本部の中で管理させていただくかたちで、その中で各市町村で避難訓練等を行う場面

があるかと思っておりますので、そういった時に活用させていただければと考えておりますので、中川、名寄だけではなくて、各市町村で対応できればと考えておりますので、よろしくお願いたします。

○議長（東千春議員） 橋本参事

○消防参事（橋本正道君） 私の方から若干補足させていただきます。今回、コミュニティ助成事業ということで、50万を「ケスヨ」の導入を提案させていただきました。確かにいま団体があるところが、中川、名寄ということで、他のところは活動していないというところでありまして、できればですね、導入した機械なので、使っているところを実際にPRするですとか、様々な手法をもって、防火意識の高めていくことは、非常に重要なことだと思っております。折角の機械を無駄にしないように、またPRも含めて、また他の団体、他の町村でのこういった防火活動意識の高まりも組合の内部でも検討させていただきたいと思っております。

○議長（東千春議員） ほかに質疑はございませんか。

近藤八郎議員

○9番（近藤八郎議員） 今回の補正の主なものがコロナ感染予防対策に関する大事な資機材、あるいは被服等の購入で、こういう状況の中では、的を得て、とても緊急性のある補正予算だと理解しておりますが、そのなかで3点ほどお伺いしたいんですけども。

まず1点目が、名寄消防署で予定しております、被服の購入ですね。これについてはたまたま45着ですか、名寄消防署が購入するんですが、組合を構成している他の消防署、支署ではそういった被服は今後、購入の予定はあるのか。あるいはすでに購入しているところはあるのかをお伺いしたいと思います。

2点目は主要備品の購入なんですけども、各

消防署、支署とのそれぞれの構成自治体の財政に応じて予算要求がされると承知しておりますが、今回、美深消防署にはいる心臓マッサージの関係ですが、これについても近年の救急業務の高度化では当然の備品の購入だと思いますけども、前は下川消防署が購入されております。今回は名寄消防署です。規模からいって名寄消防署が1台でいいのかどうかということと、それから他の消防署、支署で、こういった機材が必要なのかということ。財政の都合で、購入をためらっているのか。あるいは使用頻度の多い美深消防署等で配備されてあれば、他では心配ないというか、相互に使うことが可能なのかという判断でやったのか、そのへんを予算計上する時点での議論をお聞きしたいと思います。

最後なんですけども、これはですね、今すぐ答えがでないと思いますけども、決算の補足資料の中に財産に関する調書というのがありまして、その中で、特に今回のように、それぞれの消防署、支署で主要な装備品を購入しておりますけども、これらについてですね、決算補足資料では、まとめて組合として自動車、それからほかはその他、しかもこれは50万円以上の主要な備品となっております。このへんも、それぞれの消防署、支署がどういう設備を保有しているのかというのを補足資料の中に添付していただくのはどうか。こうすることによって、私たち共も組合議員として、それぞれの消防署、支署に、どういった消防力の配置、備品の配置がされているのか、いないのかというのが把握できると思うんです。是非そういったことで、そういう資料をつける用意がないと言われれば、いいんですけども。この後、決算、認定、審査等もありますから。是非そういった資料もつけて、親切でしかも透明性のある資料提供をお願いしたいと思います。

以上、3点についてお聞きしたいと思います。

○議長（東千春議員） 谷口消防企画課長

○消防企画課長（谷口直寿君） 最初の2点についてお答えしたと思います。

まず1点目の感染防止衣の導入の予定について、現在ここで示させていただいている名寄の感染服と各町村で導入されている感染服に若干の違いがありますけども、目的は同じであります。そういったところで、他の消防署、支署についても導入は十分にされていると認識しております。

今回の導入の内容になりますけども、感染防止衣にはディスプレイとリユースタイプがありまして、今回のものは繰り返し使えるものとなります。ディスプレイですと、どうしても名寄消防署の件数を考えると、納入に時間がかかってしまい、間に合わない場面がコロナ以降ですと多々ありましたので、何回も繰り返し使えるものを使うことによって対応できるということで、今回、提案させていただいております。リユースタイプについては、必ずしも他の消防署、支署に絶対に必要というものでもありません。ディスプレイでも十分賄われておりますので、十分対応できるかと認識しております。

2点目の心臓マッサージシステムの導入についてですが、現在、導入しておりますのは中川、下川、名寄で導入しております。名寄については2台導入しておりますして、名寄消防署と風連出張所でそれぞれ1台ずつ用意しております。今ある市町村については対応できていると思っております。

音威子府についても、他の市町村の状況を確認したうえで検討していきたいと聞いておりますので、自分たちとしては情報の提供であるとか、そういったものを音威子府に示させていただきながら、高価なものでございますので、購入の判断をしていただければと思っております。

○議長（東千春議員） 橋本参事

○消防参事（橋本正道君） 感染防止衣と心臓マッサージシステムの話をしていただきましたが、名寄消防署におきましてはディスプレイ、いわゆる1回着て捨ててしまうものを、かなり出動回数が多いということで、何回も洗って使っている状況でありました。それで今回、使い捨てではないものを導入ということでありまして、出動の回数に応じてこういったかたちをとりました。

それから心臓マッサージシステムの導入につきましては、議員のおっしゃるとおり財源がありますので、各市町村のコロナ交付金での財源にかなり左右される部分だと思っておりますが、ただ、先行して導入している署がありますので、内部での情報交換を通じながら、的確に必要な備品について、それぞれの署で議論を深めていただければと思います。折角の交付金ですので、できるだけ効率的な使い方をしていただければと思います。

それから3点目、決算審査の時の備品の関係ですけれども、かなりこの1、2年間で備品を導入しておりますので、やはり成果としてどういうふうな状況にあるのかというのを示す必要があると思いますので、検討していきたいと思えます。あまり少額なものを載せると煩雑になりますので、一定ライン、50万、あるいは財源の種類によってわかるようなかたちでお示しできるように検討させていただきたいと思えます。

○議長（東千春議員） 近藤八郎議員

○9番（近藤八郎議員） 今の答弁をいただいて、理解はできるんですけども、ちょっと考えていただきたい事を言いたいです。消防署、支署のいろいろな判断で備品とか消耗品を用意するのも当然なんですけども。組合の本部として、そういったものを新調する前にですね、他の消防署では古いけど使えるんだという判断で、だ

からここだけでいいんだという事ではなくて、本部としてこれを各消防署、署員に均等に当たるように、これはこういう状況の中で、やはり士気にも影響すると思います。古くても我慢しているところもあるんです。要求したってその町の財政事情の話で導入していないところもあるわけですから。本部として、しっかりと各消防署、支署に、例えば3年間の中で、計画的に整備しましょう、配備しましょう、あるいは要求しましょうと、そういったものをしっかり示す事が本部の役割だと思っておりますし、そういうことをしっかりと把握して、それぞれ消防署に指示するのが、それぞれの正副管理者の責任だと思います。それをしっかり見るのは私たち議会の議員の責任だと思います。そういった意味では、決してあるからいいんじゃないなくて、考えてください。新しいグローブがよその町にはあたって、自分たちのところにはあたらないというのは、やはり面白くないというのが心理だと思います。これは余談です。そういう事で、是非、検討されて、早期にこういった声に応えられるように、それぞれの消防署、支署の財政状況なんかを把握して、統一するものはする。あとはそういった実態でどう判断するか。これはもう正副管理者にかかっておりますので、よろしくお願ひしたいと思えます。

○議長（東千春議員） ほかに質疑はございませんか。

（発言なし）

○議長（東千春議員） 以上で質疑を終結いたします。

お諮りいたします。本件は、委員会付託を省略し、ただちに採決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（東千春議員） 異議なしと認めます。これより、採決を行います。議案第1号は原案

のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(東千春議員) 異議なしと認めます。

よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

◎閉会の宣言

○議長(東千春議員) 以上で、今期 臨時会に付議されました案件は全て議了いたしました。

これをもちまして、令和3年第1回上川北部消防事務組合議会臨時会を閉会いたします。

ご苦労様でございました。

(午後2時24分)

上記会議のてん末を記載し、その相違なきことを証するため、ここに署名議員とともに署名する。

議 長

署名議員

署名議員